

富山のデザインを世界へ発信。 イタリア・ミラノで展示会を開催。



トリエンナーレ美術館で展示会

富山県、7月31日から8月2日までの3日間、イタリア北部ミラノ市にある「トリエンナーレ美術館」で、富山県伝統工芸品展示会『富山の食とプロダクツのある風景』を開催した。同展示会は、同じくミラノ市で開催されている『ミラノ国際博覧会』（ミラノ万博 会期：5月1日～10月31日）の「富山県の日（TOYAMA STYLE）」に合わせて企画された。トリエンナーレ美術館は、「実用の美学」をテーマとする世界的な美術館で、デザイン都市・ミラノを象徴する施設。

本展示会には、デザイン性の高い金属、布、ガラス、木製品などの工芸品を中心に50点の作品が展示された。（右表）あわせて陶芸家・釋永由紀夫氏（立山町）や和紙職人・川原隆邦氏（同）の作品も展示された。

会場には現地デザイナーやイラストレーター、メディア関係者や観光客らが多数訪れ、展示作品の繊細な技術に魅入った。最終日（2日）には、現地バイヤーとの交流会が開催され、ミラノ万博視察に訪伊していた石井隆一知事が会場を訪れ、同美術館館長アンドレア・カンチェラート氏と懇談。「美術・デザイン・伝統工芸」をテーマとした今後の親善・交流を約した。

出展品と製作企業

金属の 工芸品・製品	織田幸銅器、KANAYA、小泉製作所、シマタニ昇龍工房、高岡銅器、高田製作所、タカタレムノス、竹中銅器、ナガエ、能作、二上、北陸アルミニウム、モメンタムファクトリー・Orii、山口久乗、四津川製作所、（以上高岡市）
布製品	富山もようプロジェクト、松井機業（南砺市）
和紙製品	FIVE GOKAYAMA（南砺市）、桂樹舎（富山市）
ガラス製品	天野漆器、高岡漆器（以上高岡市）、富山ガラス工房（富山市）
木製品	嶋田工芸挽、物師 肇工房（以上砺波市）、SHIMOO DESIGN（富山市）、黒田昌吾氏、高岡漆器（以上高岡市）
その他	とやま土人形工房、リッチェル（以上富山市）、越中福岡の管笠製作所技術保存会、タカタレムノス（以上高岡市）

「伝統工芸ミラノスクエア」でも 特設ブース展示出展

上記展示会と並行して、伝統的工芸品産業振興協会（東京）が、ミラノ市内に設けたショップ「伝統工芸ミラノスクエア」でも、7月30日から8月5日にかけて富山県特設ブースが設けられ、高岡銅器や高岡漆器、庄川挽物木地、越中和紙の15点が展示された。